

「就任のごあいさつ」

本部長 深町 美代子

★内部管理体制の構築、本部機能の強化、職員業務と利用者サービスの充実★

日頃より当法人の事業運営につきましては、ご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。また新型コロナウイルス感染症防止のため様々な対応につきまして利用者、ご家族、関係者の皆様のご理解とご協力に対しまして心より感謝申し上げます。

この度、令和4年4月1日付、法人本部長として務めさせていただくことになりました。責任ある大役を担うことに身の引き締まる思いですが、社会福祉法人として課せられる役割を着実に進めていけるよう努めてまいります。

さて、今年度法人の事業計画につきましては、宰府福祉会「第三次中期経営計画」の1年目となります。この中期経営計画で定めた重点実施項目に基づき、その目標の実現に向けて積極的に取り組み事業計画を推進いたします。

社会福祉法が改正され、社会福祉法人は「施設中心の運営」から「組織的な経営」へと変わろうとするなか、ガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化が改革の柱となります。また、自立した組織としてコンプライアンスやリスク管理、組織業務の適切性を確保する内部管理体制の構築が求められています。

法人本部としましては、本部機能をさらに充実していかなければならないと考えています。

①法人全体の財務状況の把握と分析は言うまでもなく会計基準の遵守、事業運営資金の確保等の財務管理 ②会計監査、業務点検等の内部監査 ③各拠点、法人全体の運営上の課題の解決 ④老朽化した施設設備の保守管理と更新 ⑤人材確保と定着及び育成等については、人材確保に向けた工夫や多種多様な働き方を実現するため、働く環境の整備と職員の公正評価と適材適所の配置等の人事制度の見直しと職員の教育体制の充実、このような法人全体の課題への対応を行ってガバナンスの強化をしなければならぬと思っています。

また、当面の課題として、○法人本部機能の充実 ○拠点の管理業務の確立 ○事業統括機能の確立 に取り組む必要があると考えていますが、その中心的な取り組み課題としては「業務とサービスの標準化」と思っています。業務やサービスを標準化することで業務と組織の安定的な運営を行ない効率性と生産性の向上を図り、サービスの質の向上と職員の業務の働く環境、働きやすさに注力してまいります。

どうぞ今後とも、皆様方のご理解とご指導をよろしくお願いいたします。

2022年4月1日

